

ので、これからは私の責任において議員交流の活発化に努力します」と明確に協力を約束したのである。

経済界との会合

昨年はロシア政界ばかり行脚したが、今回は、ロシア版経団連といわれる産業家企業家同盟の方たち、又、ロシア商工会議所の方たちと相次いで会合を持つことができた。

と考える。日本の対口投資の拡大は、日口両国双方に大きな利益を与え続けるであろう。対口外交、対口経済は、我が国の利益を考慮の上で、最優先課題と位置付けるべきではなからうか。

ならなくなる。全国の友愛の会員、友愛の理解者の皆さんに、ぜひホームステイなどの協力をお願いしたいと考えている。

のリーダーが、日本から中国に変わったといわれると、いい気持ちではなかった。日本は覇権主義をとることはありえないが、国力の増強には全力をあげるべきである。政権交代、ねじれ国会、日銀と財務省による

彼らは日本の対ロシア投資の増大と、日口貿易額の倍増を強く願っており、日本の企業に、もっと積極的に

国際人道協力庁長官との会談 地味な大臣ではあったが、ムハメトシン国際人道協力庁長官と一時間以上も話し合った。国際的な人道支援などの話題が多かったが、注目すべきは日口青年交流で盛り上がったことだ。ロシアは青年交流に力を入れ始めており、いくつかのプログラムを既に用意して各国の青年たちをキャンプに招く計画があるようである。

おそらくGDPの総額で中国に抜かれたことが響いているのだから、アジア

のリーダーが、日本から中国に変わったといわれると、いい気持ちではなかった。日本は覇権主義をとることはありえないが、国力の増強には全力をあげるべきである。政権交代、ねじれ国会、日銀と財務省による

できる」と明言していた。もう、ロシアは共産主義国ではないのだから、ロシア政府にばかり話を持ち込まないで、ロシアの経済団体や

私は日本友愛協会の紹介をして、ぜひ日口青年交流をやりたいたいと言ったところ、先方も大乗り気であつた。これは話をうまく詰めていけば必ず実現できるという感触を得たが、そう言った場合、逆にロシア青年たちを毎年、受け入れねば

サントペテルブルグ市のポルタフチェンコ市知事等要人と会談

サントペテルブルグのラジオ「モスクワのこだま」に生出演

進出できる—— そう言いたかったように聞こえた。

ペトロパヴロフスク要塞にて、正午の大砲発射を体験

市庁舎内のレーニン執務室を見学。実際にレーニンが使っていた

露日友好協会館訪問。ルービーン露日友好協会会長等と記念撮影

いづれにせよ資源大国のロシアと技術大国の日本は、完全な相互補完性がある

旅を終えて 今回の訪口で、イズヴェスチャー紙から取材を受けたり、サントペテルブルグのラジオに生出演したりしたが、どこでも聞かれるのが「アジアのリーダーの立場を中国に取られてしまった日本は、今後どうするか」という点であった。

サントペテルブルグのラジオ「モスクワのこだま」に生出演

サントペテルブルグのラジオ「モスクワのこだま」に生出演

露日友好協会館訪問。ルービーン露日友好協会会長等と記念撮影

サントペテルブルグのラジオ「モスクワのこだま」に生出演

平成二十三年度文部科学大臣賞 第二十二回友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール 本選会出場者決定

日本友愛協会が文化振興、国際交流事業の一環として開催している「友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール」は、第十二回の開催を数えた。今回も平成二十三年度文部科学大臣賞の栄冠を目指して、多くの応募があった。第一次予選、第二次予選を勝ち抜き、本選会出場の栄に輝いたのは十一名(内学生三名)。毎年水準が高くなっていると審査員の先生方の評にもあったが、今年度は特に水準が高く、十一名の出場者となった。本選会で最終の栄冠を目指して十一名の精鋭が競演する。紙上で十一名の方々をご紹介します。(四面に出場者全員の写真、及び本選会チケット案内を掲載)

- 第一次予選は十月二十日 公園の木々も色づき始め、正に芸術の秋の雰囲気が出て開催された。
- 全国から集った声楽家、伴奏のピアニストの方々、緊張の面持ちで控え室にて出演の順番を待っている。会場の足の便がよいためか、平日にも関わらず、入場者が多い。一般の部の演奏が終わると、学生の部の演奏へと続く。審査員の先生方も、丸一日という長丁場にも関わらず、熱心な採点が続いた。
- 審査の結果、二十四名が二次予選に進むこととなった。出演者の水準の高さに、審査員の先生方も採点の難しさに嬉しい悲鳴だ。
- 十一月四日(金)二次予選が行われた。
- 二次予選は場所を改め、本選会と同じ「旧東京音楽学校奏楽堂」が会場となる。奏楽堂は、音楽を目指す者にとっては、憧れの殿堂といわれているところで、ここで演奏することにも、意義がある。
- 重要文化財指定の奏楽堂の建物に、例年になく暖かい日差しが降り注ぐ。上野

- 進行は順調に進み、予定通り午後六時四十分までに演奏が終わった。本年度は特に演奏者の水準が高く、審査員も選考に苦慮したようだ。慎重な審査の結果、一般八名学生三名、計十一名の本選会出場者が選ばれた。
- 発表を貼り出したロビーは、悲喜こもごも、それでも最後は皆笑顔で帰路についた。
- 本選会出場者が残って、当日の説明を受ける。全員笑顔の中にも、本選会への強い闘志がみなぎっていた。なお、本選会出場者は、全員入賞として表彰される。

- 学生部——
- 石川 奈津子 ソプラノ 東京芸術大学在学中
- ピアニスト：森 亮平
- 一般部——
- 山本 有希子 ソプラノ 武蔵野音楽大学卒業
- 武蔵野音楽大学卒業
- ピアニスト：森川由美子 ソプラノ
- 東京芸術大学大学院修了
- ピアニスト：千葉かほる
- 朝倉 春菜 ソプラノ 東京芸術大学大学院在学中
- ピアニスト：千葉かほる
- 土橋 創 バリトン 武蔵野音楽大学大学院修了
- ピアニスト：岡 陽子
- 森 孝裕 バリトン 大阪音楽大学専攻科修了
- ピアニスト：竹村美和子
- 明珍 宏和 バリトン

また、好評を博している、「聴衆者賞」、これは、来場の皆様の投票で選出されるもので入場券に付されている投票用紙交換券で、一人一票投票できる。聴衆者賞受賞者には、審査選考の間の時間を利用して、再び演奏していただくことになっており、こちらが大いに注目したい。本選会の詳細は四面に掲載



東アジア駆け足旅行記

韓日中国協力事業所発足 キャンパスアジア構想スタート

日本友愛協会 鳩山由紀夫 副理事長



皇太子殿下にお供して

現在、政府専用機の機内で書いています。サウジアラビアのスルタン皇太子が薨去(こうきよ)されたため、皇太子殿下と供に、政府特派大使として弔問に伺った帰りです。片道十二時間、リヤド滞在六時間の機中泊は余りにも強行軍ですが、殿下はお疲れも見せずにご立派です。

袋の満足度に関しては竜頭蛇尾でありました。ベトナム……一役買った日本酒

ベトナム訪問の目的は、一〇月末のズン首相来日を控えた地ならしを兼ねて、日本にとって重要な国であるベトナムの要人たちとの信頼の醸成でした。

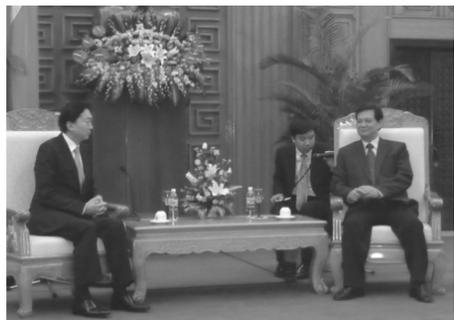
日本で学んだ親日家のカイ科学技術副大臣にお世話になり、グエン・ミン・クアン資源環境大臣とはレアアースの協力を、グエン・クアン科学技術大臣とは原発を含めた科学技術の協力を、そして私のパートナーになる越日友好議員連盟の会長予定者のズア組織委員長とは日越友好の話を進め

てきました。ズア氏はお酒が好きと伺っていましたので、越の寒梅を差し上げたところ、大変に喜ばれました。差しつ差されつのおもてなしが好きとのことでした。ズン首相と……日本の役割

再選されて実質最高の権力者となったズン首相とは旧知の仲でしたので、かなり突っ込んだ話をいたしました。原発に関しては、私から決して楽観ばかりできない現在の状況を率直に話しました。それに対して、ズン首相は、原発の建設は電力が不足しているベトナムにとって不可欠で、原発事故以来、他国からのアプ

最後にズン首相はメコン川の上流のラオス、カンボジアでのダム開発のベトナムへの影響を心配している、日本の協力を求めたいと話されました。中国も含めメコン川流域の国々の利害関係が絡む複雑な問題だけに、友愛精神に基づいて日本が仲裁役を果たしたいと思えますと決意を述べました。

ベトナム料理と言ったら、やっぱりフォーです。今回のベトナム一泊の旅でも三度フォーを食べましたが、ベトナムで月桂冠をナンバー1の売り上げにした親友の加藤さんに連れて行って貰ったフォー専門店(日本で言えばラーメン屋)の味は格別でした。ホテルや高級レストランより鶏の味が生きてました。加藤さんに、食べかすの鶏の骨は床に捨てるんだよ



首相府で旧知の間柄ズン首相と会談。両国の発展を大いに語る



グイエット前越日友好議連会長から金色の額を贈呈された



韓日中三カ国協力事業所にて、ゲストブックに記念の署名

この事務所の開設を記念して、三ヶ国アカデミックフォーラムが開催され、そこで記念講演をしました。言うまでもなく、友愛の理念が東アジア共同体構想につながる、その一つの核がこの三ヶ国だと述べながら、とくに日中韓サミットで私が提案した、三ヶ国の大学間で単位の互換を認めるキャンパスアジア構想がいよいよスタートすることになったことを報告しました。

この事務所の開設を記念して、三ヶ国アカデミックフォーラムが開催され、そこで記念講演をしました。言うまでもなく、友愛の理念が東アジア共同体構想につながる、その一つの核がこの三ヶ国だと述べながら、とくに日中韓サミットで私が提案した、三ヶ国の大学間で単位の互換を認めるキャンパスアジア構想がいよいよスタートすることになったことを報告しました。

旅程の最後は成都でした。仁川空港で石焼きビビンバを食べて、合肥で乗り継いで成都に着いたのは夜の九時過ぎでしたが、四川省の劉奇葆党書記が待っていてくださり、懇談をいたしました。四川省は三年前に大地震の被害を被りましたが、劉

書記曰く、完全に復興を遂げただけでなく、二〇年先取りした地域となったとのこと。大変な自信がみなぎっていました。確かに、翌朝、西部国際博覧会の開幕式に出席しましたが、そのスケールの大きさに自信もむべなるかなと感じました。

中国は沿岸部を中心に急速な経済発展を遂げて来ました。これからは、中西部の発展が中国の成長の鍵を握ると思われれます。日本の大企業のみならず、中小企業がこの地域にどんどん進出して来ることが両国のウインウインの関係を築くことになるのではないかと思います。そんな話を博覧会に付随して開かれたシンポジウムでいたしました。一番拍手をいただいたのは、五年前に妻が成都でパングを抱いた折のパネルを示した時でした。今回、残念ながら私はパングを見ることが出来ず、駆け足で日本からの出展ブースを回って成都を後にしました。



フォーラム出席の中国の唐家璇元國務委員と会談



西部国際博覧会シンポジウムで講演。大規模な博覧会だった



中国四川省・劉奇葆書記ほか幹部と記念撮影

植林訪中参加者募集

第十九次アモイ市・第二〇次孝感市

日本友愛協会が実施する事業の一つとして、中国に於ける植林活動があります。派遣団を組み、本協会の派遣員として中国を訪問します。本年度も第十九次福建省アモイ市及び第二〇次湖北省孝感市に於いて植林活動を実施します。この訪中団に参加する団員を募集します。第十九次は十一月末締め切りです。日中友好、環境保全を目的に十年に亘り続けられた植林活動に是非ご参加ください。

見学場所
西安(シルクロードの出発点。世界遺産兵馬俑など)
参加費用/一般:十一万円
学生:八万円

*参加費はいずれも航空運賃、宿泊費、食事、保険料が含まれています。空港までの国内交通費、前泊、後泊費用は各人の負担です。
*詳細は、事務局までお問い合わせください。

湖北省孝感市(林則徐記念館など)
参加費用/一般:九万円
学生:五万円
第二〇次訪中団
湖北省孝感市
平成24年2月21日(火) 25日(金)

*湖北省は本協会が永年に亘って植林を続けている省で、古き良き中国の趣を残しています。孝感市は初めての植林現場です。
見学場所
西安(シルクロードの出発点。世界遺産兵馬俑など)
参加費用/一般:十一万円
学生:八万円

*参加費はいずれも航空運賃、宿泊費、食事、保険料が含まれています。空港までの国内交通費、前泊、後泊費用は各人の負担です。
*詳細は、事務局までお問い合わせください。

見学場所
西安(シルクロードの出発点。世界遺産兵馬俑など)
参加費用/一般:十一万円
学生:八万円

*参加費はいずれも航空運賃、宿泊費、食事、保険料が含まれています。空港までの国内交通費、前泊、後泊費用は各人の負担です。
*詳細は、事務局までお問い合わせください。

見学場所
西安(シルクロードの出発点。世界遺産兵馬俑など)
参加費用/一般:十一万円
学生:八万円

友愛婦人会だより

恒例「研修旅行」開催 勉強会「扇子を作る会」



鳩山一郎先生・鳩山 薫先生の銅像の前で、友愛婦人会研修旅行参加者一同が、揃って記念撮影。全員に笑顔が絶えない。
鳩山安子会長のもと、いつも一郎先生の教え「相互尊重 相互理解 相互扶助」を念頭に活動が続けるという思いを新たにしたい研修会でした

友愛婦人会の活動の一つではありますが、いつも感じますことは、鳩山安子会長のご理解を賜り、このような会も開けることに、感謝の気持ちでいっぱいです。
(友愛婦人会 鈴木和子記)

友愛山荘へ研修旅行
平成二十三年八月二十九日(月)から三十一日(水)まで、恒例となりました「友愛婦人会研修旅行」を軽井沢友愛山荘にて行いました。
参加者二十四名、貸切バスにて、文京シビックセンターを十時に出発。晴天に
翌三十一日、迎えるバスにて帰京、台風が接近して

恵まれ、首都高、関越道を順調に進み一路目的地へ。渋川・伊香保インターをおり、世間の注目の的「八ッ場(やんば)ダム」を見学いたしました。立派な架橋が中断されたままで、現状では大変勿体無い様子に見受けられました。
軽井沢も夏休みの終盤となり、町並みも静かです。十五時、友愛山荘到着、山荘のスタッフの方々に歓迎していただき、皆ゆっくりさせていただきました。
震災以降、節電にて猛暑の都会を離れ、高原の風は心地よく、毎年伺う友愛山荘は、故郷に里帰りした気分です。

六月二十一日(火)より全十回の予定で「扇子を作る会」を開催いたしております。
絵手紙を描くことが始まりで、ハガキの大きさだけではなく、様々な形に描いてみようと、和紙でできた扇面に描いてみました。その内「世界に一つしかない自分だけのお扇子を作ってみよう」ということになり、私、鈴木が描いながらご指導をさせていただいております。十回の作品の中から、一番のお気に入りを選んで、扇に仕上げてもらうことになっていきます。顔彩を用いて仕上げる絵は、画題もまちまち個性が溢れて、見ていても楽しい限りです。



松原みなみさん 学生



高田慧一さん 学生



石川奈津子さん 学生



土橋 創さん



朝倉春菜さん



橘田有美さん



山本有希子さん



内之倉勝哉さん



金原美里さん



明珍宏和さん



森 孝裕さん

友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール 上野・旧奏楽堂にて 十二月十四日(水)本選会開催



第二十二回友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール本選会は、十二月十四日(水)上野奏楽堂で開催される。
奏楽堂は、現在は台東区立旧東京音楽大学奏楽堂として、台東区が運営しており、常設展、コンサートなどで広く親しまれている。
明治二十三年に創建されたこの建物は、日本最古の木造洋式音楽ホールで、昭和六十三年国の重要文化財に指定されている。
荘厳な趣の建物は、窓、床などは勿論、内部のドア、ドアノブに至るまで大切に保存されており、そこで開催される友愛ドイツ歌曲コンクールは、音楽関係者にとり、晴れの舞台となる。また、来場者にとっても、建物を味わう絶好の機会ともいえる。(詳細記事二面)
本選会は、ドイツ歌曲のみならず、日本歌曲も演奏され、選考の対象となっています。文化財としての建築物で開催される、音楽文化の競演に、是非足を運んでみてはいかがでしょうか。
チケットは当日会場で購入されます。(全席自由)
皆様お誘い合わせの上、是非お越しください。
事務局にて電話で予約も承ります。当日受付にご用意させていただきます。
チケット 一般 二千元
学生 千円
チケットには、来場者が選ぶ賞「聴衆者賞」の投票用紙引換券がついています。最後まで、大切にお手元にお持ちください。
お問い合わせ先
日本友愛協会/事務局
〇三(五六八四)三一八八

時事川柳 服部迪夫 作
—新大開
博多場所埋め尽くされる菊の花
—本を出版
百歳はやっばりすごい生命線
—依存度高し
こんなにも身近にあったパンコック
—地球規模
経済が生き物だという実感
—交通網寸断
プロ野球ファン飲み込む十五号
—受賞者の死
ノーベルもアット驚くサブライズ
—南極大陸
南極の氷を溶かす視聴率

機関紙『友愛』原稿募集
皆様のご投稿をお待ちしております。内容は、ボランティア活動の報告、地域の紹介、季節のお便り等々、何でも結構です。ご自慢の真実も大歓迎です。皆様の『友愛』に奮ってご投稿ください。詳しくは事務局までお問い合わせください。
締切：特設場には、いつでもご投稿ください。掲載ご希望の月がある場合は、2ヶ月前に原稿が届くようお願い致します。
要領：手書き原稿・データ原稿・メールでの投稿何でも対応可能です。
写真：紙焼き(カラー・白黒)・デジカメデータどちらでも。

◆ラニーニヤ現象との発表があったが、この冬はどんな気候になるのか。3・11以来、東海、東南海地震等を含めて自然が不気味で、なんと不安な日々。想定外という言葉ではないが、自然現象を完全に捉えることは、現在の人間の能力で不可能。良寛は災難にあふ時期には災難にあらうが、我々凡人にとっては一日一日の無事を祈るのみ。内外ともに不透明なこの頃、「おもしろきこともなき世をおもしろく住みなすものは心なりけり」(高杉晋作)そんな言葉に惹かれる。(K)
◆今回ドイツ歌曲コンクールが第22回を迎えた。年に一度の開催であるから、第一回から数え実に二十二年間継続的に行われてきたこととなる。この間、多くの音楽家がこのコンクールを経て活躍している。このことが、友愛のコンクールが音楽家にとつての登竜門であると自負する所以である。嬉しいことは、活躍中の音楽家が、自身のプロフィールに友愛での受賞歴を挙げてくれていることである。継続することの価値、継続によって増す責任を強く感じさせられる。(GO)
◆再び植林でお世話になってる中国・全青連の羊さん(二六歳)の話。過日「文化の日」について、そちらは如何? と聞くと「明治天皇の誕生日でしょう」との答え。えっ、そうだった。中国の方だから、その辺り微妙? 現行憲法では、直接関連性はないが、言われてみればかつての明治節、ああ、そんなことまで教えられて。穴があったらこのこと。それにしても羊さんは良く勉強している。見習わなくては。(も)

